子育て女性の活躍応援プロジェクト【滋賀県日野町】

地域の実情と課題

【実情】一世帯あたりの人数の減少(1.11人(※①))による核家族化の進行、 町の生産年齢人口の減少(9.7%(※①))による地元企業・事業所等の人手 不足が深刻化し、若者の地元定着やUIJターンによる移住定住対策による 人材確保、子育て中の親、特に女性の社会復帰による人材確保が必要。

(※①)H2国勢調査とH27国勢調査の比較による数値

【課題】子育て中の女性は子育てと仕事の両立への限界や不安から退職 せざるを得ないことが多い。また、近年は核家族化の進行により、子育て中 の女性が孤立するなど、退職後に社会復帰が果たせない状況がある。

事業の特徴

平成30年度地方創生拠点整備交付金を活用して整備した「女性活躍支援施設ぽけっと」において、子育て女性が抱える、子育てと仕事の両立に関する不安や悩みの解消を図るための事業を展開した。

事業① 子育て女性の再就職を応援する就労セミナー(3回)

事業② 子育てと仕事の両立や社会復帰等に関するカウンセリング(1回) 事業③ ハローワークによる仕事と子育ての両立や自分に合った職探し、資格取得など、さまざまな悩みについて相談する「お出かけ相談」の実施連携(2回)

事業の効果

「就労相談件数」については、延べ46人(目標10人)の件数があり、今後の就労や子育ての両立に対するニーズが高いことが分かった。また、アンケートやヒアリングを通じて、自分に合った働き方を考える機会や子育てへの不安や仕事の両立についての不安を共有する機会となったとともに、子育て世代の女性の多くが子育てと仕事の両立について不安を抱えながらも前向きに考えておられることが判明した。さらに、「事業による出産後の女性の復職者の増加数」については、8名の成果があった。

目的•目標

【目的】女性の社会進出を一層進めるため、子育て女性のニーズを把握しつつ総合的に支援していく仕組みを構築し、働きたい意思のある子育て女性が出産や育児を理由として退職することなく、子育てと仕事を両立させ、安心して社会復帰し、働き続けられる環境づくりを目指す。また、地元企業・事業所への復職・就労を促進し、人材不足の解消を図る。

【目標】

- ・事業による出産後の女性の復職者の増加数 実績8人(目標15人(H35.3))
- ·就労相談件数 実績46人(目標10人(H32.3))

連携団体

- ・つどいのひろば「ぽけっと」(日野町子ども支援課)
- …子育て女性のニーズに合わせて総合的に支援するための情報連携
- ・ハローワーク東近江
- …事業③「お出かけ相談」の連携実施
- ·町内企業·事業所、日野町商工会
- …働きやすい環境づくりの推進 女性の就労状況等の情報共有・実態把握

今後の課題

- ・女性の社会・地域での活躍を広く応援していくためには、すでに仕事と子育 てを両立している女性も巻き込んで支援していく必要がある。
- ・相談される女性一人ひとりの家庭環境は異なるため、個別の相談機会の充実と相談者に寄り添った支援も必要である。
- ・それぞれのセミナー等のテーマの内容等により、参加者数に変動があった ため、事前に子育て世代の女性がテーマ選定にも関わり、よりニーズのあっ た事業計画を立案していく必要がある。
- ➡社会復帰に向けた不安や悩みの解消を図るとともに、自身のキャリアを 考え、学び、挑戦することができるよう学習機会を提供していきたい。

第1回・第2回就労セミナー のチラシ

子育て女性の活躍応援プロジェクト

【事業①】就労セミナー

- ちょうどいい働き方を見つけよう! ▼第1回 ~103万、106万、130万、150万の違い~
- •開催日:令和元年10月23日(水) •参加者:18名 働き方を考える上で重要な「税」や「社会保障」のしくみについ て、今後のキャリアデザインを考える視点で講義を実施した。

講義を熱心に聞かれており、需要の高い講義内容であったと ともに、町内で実施し、かつ、託児としてつどいのひろば「ぽけっ と」を利用した点で多くの参加者につながった。

▼第2回 見つけよう!あなたに合った ワークライフバランス

·開催日: 令和元年11月27日(水) ·参加者: 7名 育児や家事に追われる生活のなかで、復職した場合の仕事と 生活の調和を図る心がけについて講義を実施した。

近年の社会情勢の変化と合わせ、子どもの成長に合わせた 自分なりのバランスを取って生活していくことの重要性について 考える機会となった。

▼第3回 ママのメンタルヘルス講座 ~こころとからだをいつも元気に~

·開催日: 令和2年2月7日(金) ·参加者: 11名

育児や家事、仕事など負担の大きい生活で感じるストレスの 原因やストレスを感じるメカニズム、ストレスへの対処法を中心 に、グループ討議も交えながら講義を実施した。

日ごろ抱えているストレスについて、グループ討議を通じて共 有しながら、参加者同士が共感の持てる内容で、参加者にとっ て有意義な時間となった。







回就労セミナ





の託 児

第3回就労セミナ

子育て女性の活躍応援プロジェクト

【事業②】カウンセリング

•開催日:令和元年12月18日(水) •参加者:2名

実際に復職を考えている子育て女性から、自分の生活にあった仕事の探し方や子育て施策の活用など、復職しても生活に困らないような個別相談の機会となった。

参加者からは、居住地の近くで開催されるカウンセリングへの 参加のしやすさ、それぞれが抱える悩みの解消につながったことが確認できた。

【その他】広報・連携

子育て女性のニーズに合わせて総合的に支援するため、つどいのひろば「ぽけっと」と情報連携し、事業のチラシを配布するとともに、つどいのひろば事業でも声をかけてもらう等、参加しやすい働きかけに努めた。

また、子育て女性の就労相談窓口を広報するため、ハローワークやマザーズジョブステーションとあわせてチラシで周知を図った。



● またりと連携

| According to the property of th

【事業③】お出かけ相談

▼第1回

•開催日:令和元年10月2日(水) •参加者:7名

▼第2回

·開催日:令和2年1月29日(水) ·参加者:1名

ハローワークの相談員が参加者の家庭状況や就労意向等をヒアリングしながら、それぞれの悩みに答える形で実施された。

座談会形式で実施することで、ほかの参加者もほかの参加者の 悩みや相談員からの情報を共有でき、有意義な相談会となった。

第2回の参加者が少なく、開催時期については、今後の課題とし

て検討したい。

お出かけ相談のチラシ ▶

▼お出かけ相談





倒さたい お冊さんの思いをかなまたい!

つといのひろは「ほけっと」で

「お出かけ相談」を開催します